

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	特別支援教育						授業形態		講義	
科目コード	421120	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	川田 耕太郎								ICT活 用	
授業概要	特別支援教育の基礎的な専門性を養うために、特別支援教育の歩みや学校における支援の必要な子どもへの教育の現状、障害の捉え方と特別な指導を必要とする子どもに対する指導・支援の在り方などについて理解する。また、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進について理解すると共に、共生社会やインクルーシブな学校、社会の実現のために寄与できることを考えることができる。特別支援学校等での指導経験を活かし、学校の現状を踏まえながら理解を図れるようにする。									
関連する科目	障害児教育入門、特別支援教育総論									
授業の進め方 と方法	授業は、プレゼンテーションを用いた講義を中心としながら、グループによるディスカッションや意見交換を行い、学生が自ら考えたり、他者と協議したりすることで思考を深めていく機会を設ける。									
授業計画 【第1回】	障害児教育の歴史 特殊教育から特別支援教育への変遷について学ぶ。 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									
授業計画 【第2回】	特別支援教育 特別支援教育制度を支える考えと制度について学ぶ。 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									
授業計画 【第3回】	I C Fによる障害の捉え方 国際生活機能分類による障害の捉え方について学ぶ。 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									
授業計画 【第4回】	発達障害① 限局性学習症のある子どもの障害特性について学ぶ。 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									
授業計画 【第5回】	発達障害② 限局性学習症のある子どもの書きの問題について学ぶ。 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									
授業計画 【第6回】	発達障害③ 注意欠如多動症のある子どもの障害特性と指導・支援の在り方について学ぶ。 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									
授業計画 【第7回】	発達障害④ 自閉スペクトラム症のある子どもの障害特性について学ぶ。 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									
授業計画 【第8回】	発達障害⑤ 自閉スペクトラム症のある子どもへの指導・支援の在り方について学ぶ。 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									
授業計画 【第9回】	学校で生じている学習上の困難さの理解と対応 学習上や生活上、行動上の困難さの背景と必要な対応について学ぶ 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									
授業計画 【第10回】	病弱教育・不登校 病弱教育についての基本的な理解と指導・支援の在り方について学ぶ。 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									

授業計画 【第11回】	インクルーシブ教育の推進 インクルーシブ教育を推進するための取組について学ぶ。 書籍やweb上で紹介されている学校や社会における取組を調査する。（60分程度）
授業計画 【第12回】	インクルーシブ教育の推進 共生社会、インクルーシブな学校や社会をつくるためにできることとは何か学ぶ。 世の中で行われていることを踏まえて、自分たちでできることを考える。 自身の考えをレポートにまとめる。（60分程度）
授業計画 【第13回】	インクルーシブ教育の推進 共生社会、インクルーシブな学校や社会をつくるためにできることとは何か学ぶ。 自分たちでできることを考え、意見交換のできる形にまとめる。 自身の考えをパワーポイントにまとめる。（60分程度）
授業計画 【第14回】	インクルーシブ教育の推進 共生社会、インクルーシブな学校や社会をつくるために自分たちでできることを発表し合う。 ポスター発表形式で発表し合い、自身の考えを発表するとともに他者の考えから学ぶ。 他者の考えを踏まえ、自身の考えレポートにまとめる。（60分程度）
授業計画 【第15回】	特別支援教育の現状と課題 共生社会、インクルーシブな学校や社会をつくるために大切なことについて学ぶ。 レポートをまとめ、最終的な意見交換ができるよう予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）
授業の到達目標	1. ICFに基づいて障害の捉え方を説明することができる。 2. 発達障害を始め様々な障害について理解し、支援の在り方について考えることができる。 3. 支援の必要な子どもの困難さを軽減させる方策について考えることができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	授業の中で自分の考えや他者との話し合いを求めるため、各自で授業内容について確認や予習をしておく。（30分程度）
授業時間外学習【復習】	受講後はレポートや小テストを実施するので、学習内容を確認、復習しておく。（30分～1時間程度）
課題に対する フィードバック	小テスト等については授業の中で解説をする。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 授業に臨む態度（ペア、グループワーク参加への積極性）と小テスト等の内容（20%） 2) 定期テスト（80%）
テキスト	テキストは使用せず、適宜プリント等を配布する。
参考書	特別支援学校学習指導要領解説総則編（幼稚園・小学部・中学部）文部科学省（2017） 特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）文部科学省（2017） 特別支援学校学習指導要領解説自立活動編（幼稚園・小学部・中学部）文部科学省（2017） 障害のある子どもの教育支援の手引き 文部科学省（2022）
備考	15年間、特別支援学校（知的障害、肢体不自由、病弱）、3年間、小学校に勤務。また、4年間、鹿児島県総合教育センター特別支援教育研修課において研究主事兼指導主事、4年間、鹿児島市教育委員会学校教育課において特別支援教育担当指導主事として勤務した。